

バス運行に向けた検討状況について

※本資料については、関係者で構成する区間別検討会で検討中のものであり、引き続き関係者間で協議・検討していくものです。

函館線(長万部・小樽間)の区間別バス運行ルート(検討案)



◆ バスルート・ダイヤの設定等における基本的考え方	2
◆ ① 長万部～黒松内(～熱郛)	3～5
バスルートの検討状況	(3)
バス運行の検討状況	(4)
運行本数・ダイヤ・停留所等の検討状況	(5)
◆ ② 黒松内～倶知安	6～10
バスルートの検討状況	(6～8)
バス運行の検討状況	(9)
運行本数・ダイヤ・停留所等の検討状況	(10)
◆ ③ 倶知安～余市	11～14
バスルートの検討状況	(11～12)
バス運行の検討状況	(13)
運行本数・ダイヤ・停留所等の検討状況	(14)
◆ ④ 余市～小樽	15～20
バスルートの検討状況	(15～18)
バス運行の検討状況	(19)
運行本数・ダイヤ・停留所等の検討状況	(20)
(参考1)区間別検討会について	21
(参考2)JR乗降調査について	22

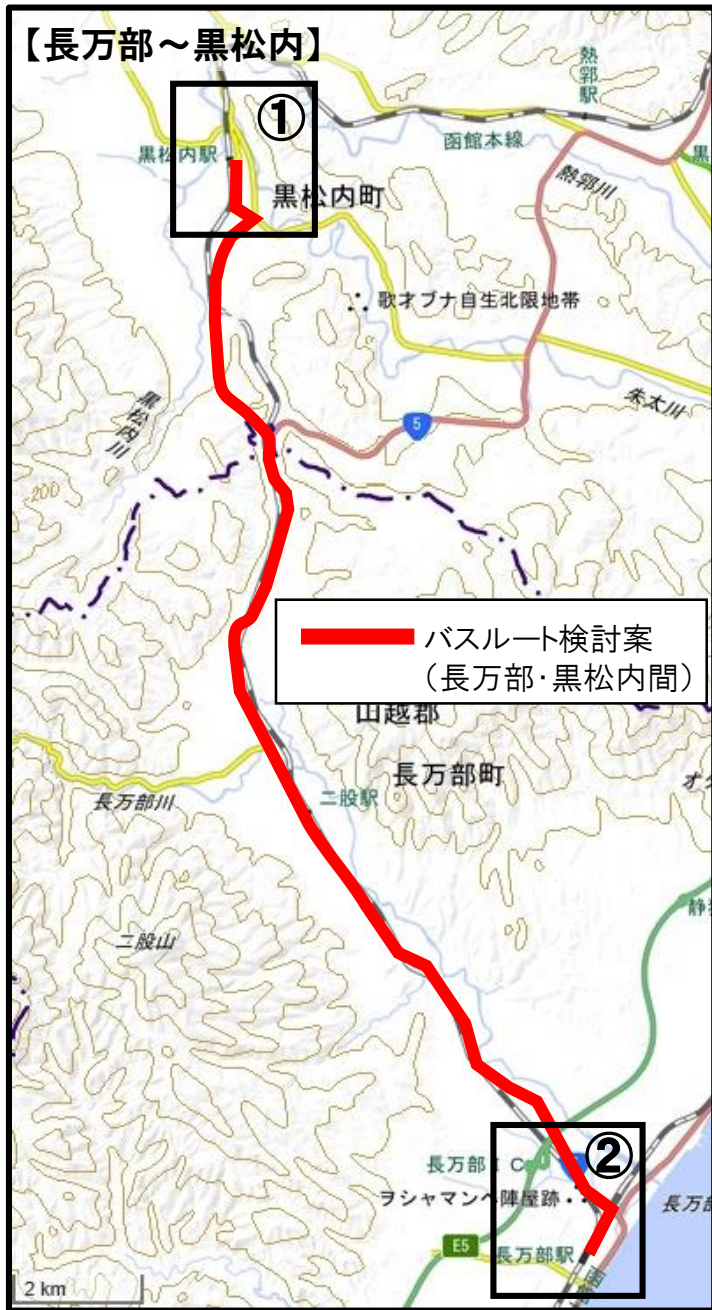
バスルート・ダイヤの設定等における基本的考え方

- 複数の市町村をつなぐ広域的なバスルートの設定に向け、多様化する地域ニーズや地域の実情を踏まえたバス路線とすることが重要であり、沿線自治体と関係者との間で方向性を共有しながら、協議・検討を進めていく。
- また、持続可能な公共交通の確保に加え、バスロケーションシステムや交通系 I C カードの活用など、利便性を高める取組についても検討を進める。

【基本的考え方】

	検討の方向性
移動手段の確保等	<ul style="list-style-type: none">・現行の鉄道運行の実態を踏まえたバスダイヤの検討・移動手段の確保に向けた新たなバスルートの検討・交通結節点となる乗継ぎ拠点等の整備に向けた検討
利便性の確保	<ul style="list-style-type: none">・既存バス路線も含め、利用実態に応じたバスルート・ダイヤの検討・通勤・通学、日常生活や観光など地域ニーズに応じたダイヤの検討
速達性の向上	<ul style="list-style-type: none">・バスの機動性を活かした目的地（高校・病院等）へ直行できるバスルートの検討（出発地から目的地までの所要時間の短縮の検討等）・高速道路を活用したバスルートの設定

① 長万部～黒松内（～熱郷）のバスルートの検討状況



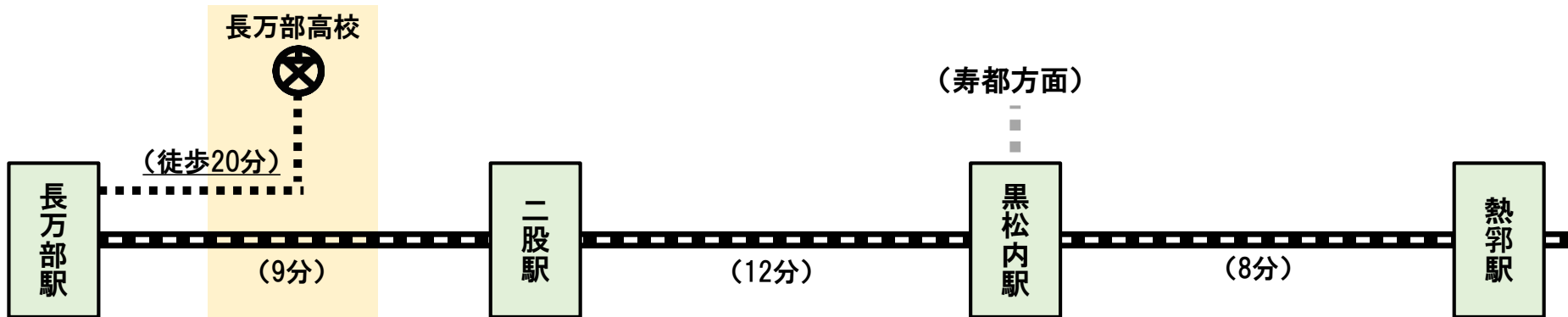
- ・既存の長万部線に準じたルートを検討する。
- ・利便性向上の観点から、黒松内駅にバスを乗り入れ、交通結節点として、乗継ぎ拠点の整備を検討する。
- ・道の駅「くろまつない」に新たなバス停留所の設置を検討する。

※国土地理院地図を加工して作成

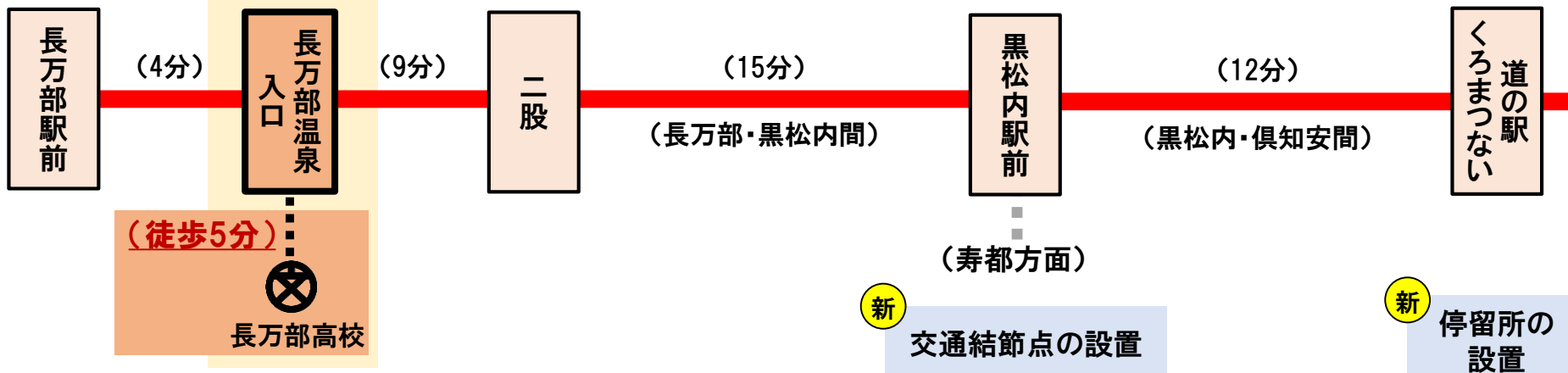
① 長万部～黒松内（～熱那）のバス運行の検討状況

ルート等の具体的イメージ

鉄道



バス



【接続拠点の新設を検討】

（黒松内駅前の接続拠点化）

長万部方面、倶知安方面、寿都方面をつなぐ交通結節点となる黒松内駅前を、乗継ぎ拠点として整備を検討

（バス停留所新設（道の駅くろまつない））

地域住民のみならず、旅行者においても使い勝手の良いバス路線となるよう、道の駅にバス停留所の設置を検討

【所要時間の比較】

（例）熱那駅（道の駅くろまつない）から長万部高校まで

・鉄道の場合：49分

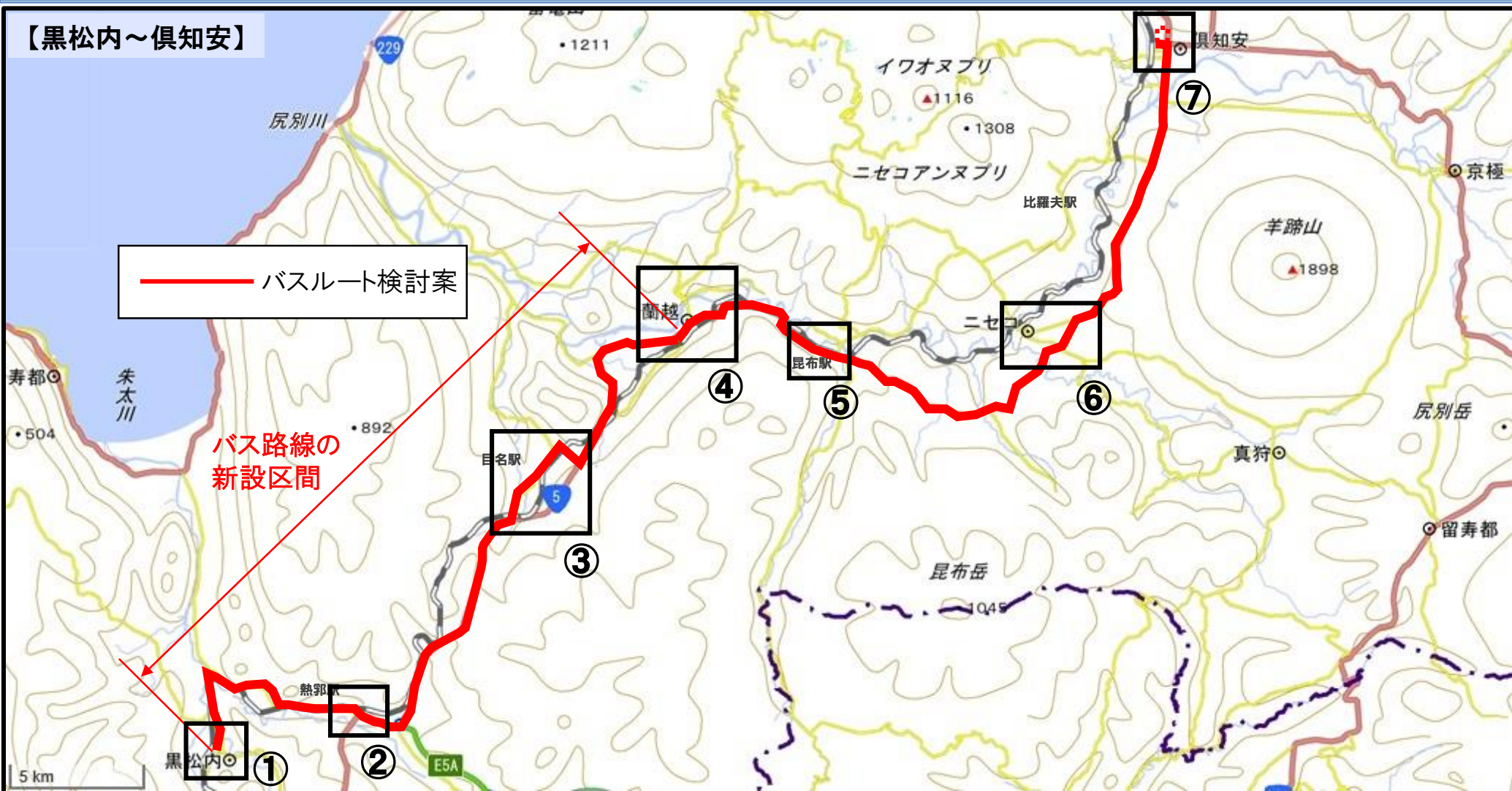
・バスの場合：43分（黒松内での乗り換え3分見込み）

① 長万部～黒松内（～熱帯）の運行本数・ダイヤ・停留所等の検討状況

項目	検討内容	検討状況
①バス転換本数	・既存のバス路線に加え、JRと同等の運行本数の確保を検討	利用実態等を踏まえ、ダイヤ検討案に反映予定
②ダイヤ (利便性)	・長万部高校の始業時間に合わせたダイヤを検討 (既存のバス停「長万部温泉入口」に8時頃到着)	利用実態等を踏まえ、ダイヤ検討案に反映予定
	・日中の時間帯(生活・観光利用)のダイヤを検討	
	・利用実態に合わせた最終便のダイヤを検討	
(接続性)	・接続性の確保を検討 (寿都方面や倶知安方面へと接続するバス、長万部を起終点とするバスなどの公共交通との接続)	
③バス停留所・ 乗継ぎ拠点等	・駅舎(再整備含む)を活用したバス待合所の設置や乗継ぎ拠点としての整備を検討(黒松内駅)	引き続き検討
	・住民ニーズに応じた新たな停留所の設置を検討	道の駅くろまつない付近に停留所設置を検討

② 黒松内～倶知安のバスルートの検討状況

【黒松内～倶知安】



・黒松内～蘭越～倶知安間に新たにバスルートの設定を検討する。（※蘭越～倶知安間は既存バス路線の利用実態も考慮する。）

② 黒松内～倶知安のバスルートのご検討状況

【黒松内駅周辺】



【熱郭駅周辺】



【目名駅周辺】



【蘭越駅周辺】



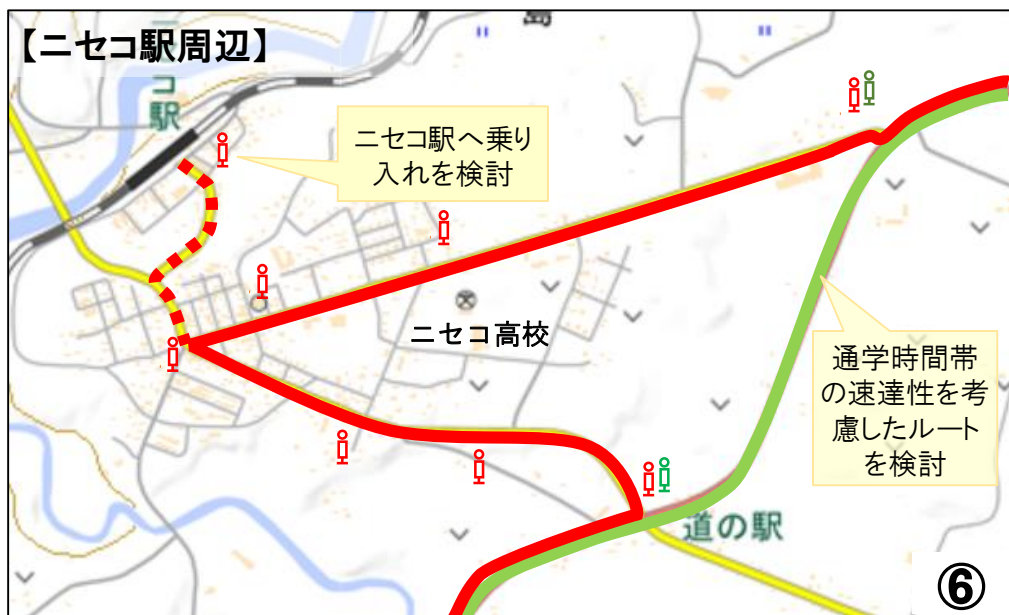
【昆布駅周辺】



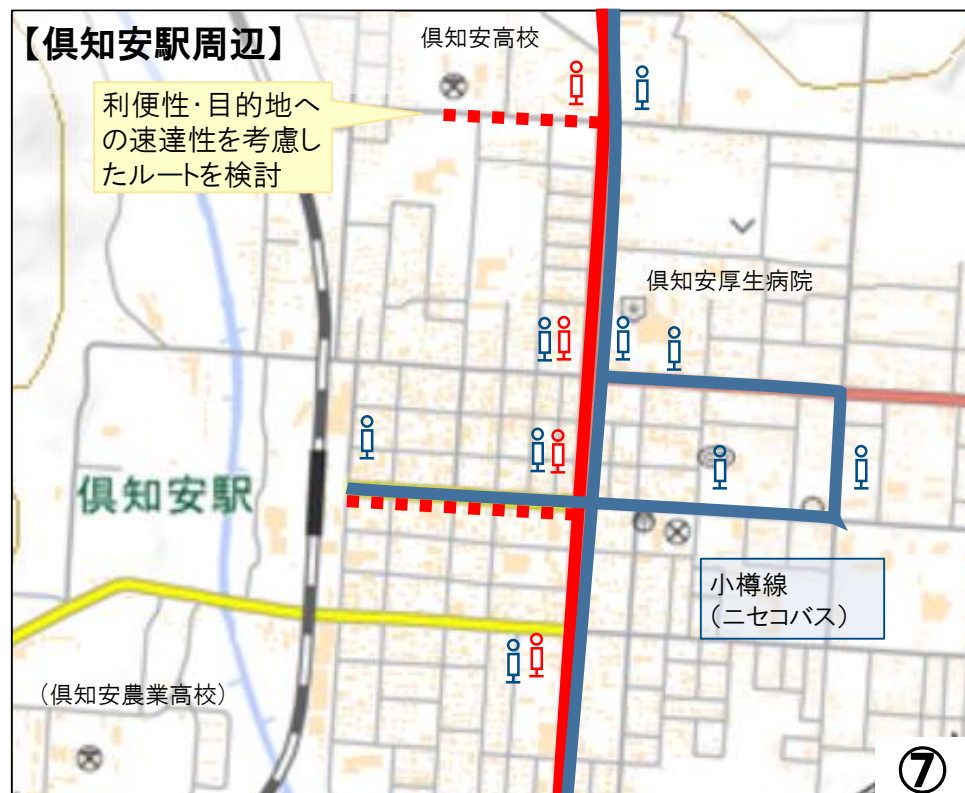
- ・利便性向上の観点から、黒松内駅・目名駅・蘭越駅へバスの乗り入れを検討する。
- ・昆布駅は現行のバス停の利用を検討する。
- ・黒松内駅を交通結節点として、乗継ぎ拠点の整備を検討する。
- ・道の駅「くろまつない」に新たなバス停留所の設置を検討する。

② 黒松内～倶知安のバスルートのご検討状況

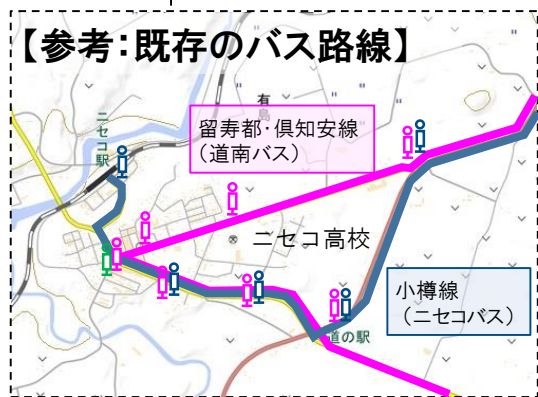
【ニセコ駅周辺】



【倶知安駅周辺】



【参考：既存のバス路線】



(ニセコ駅周辺)

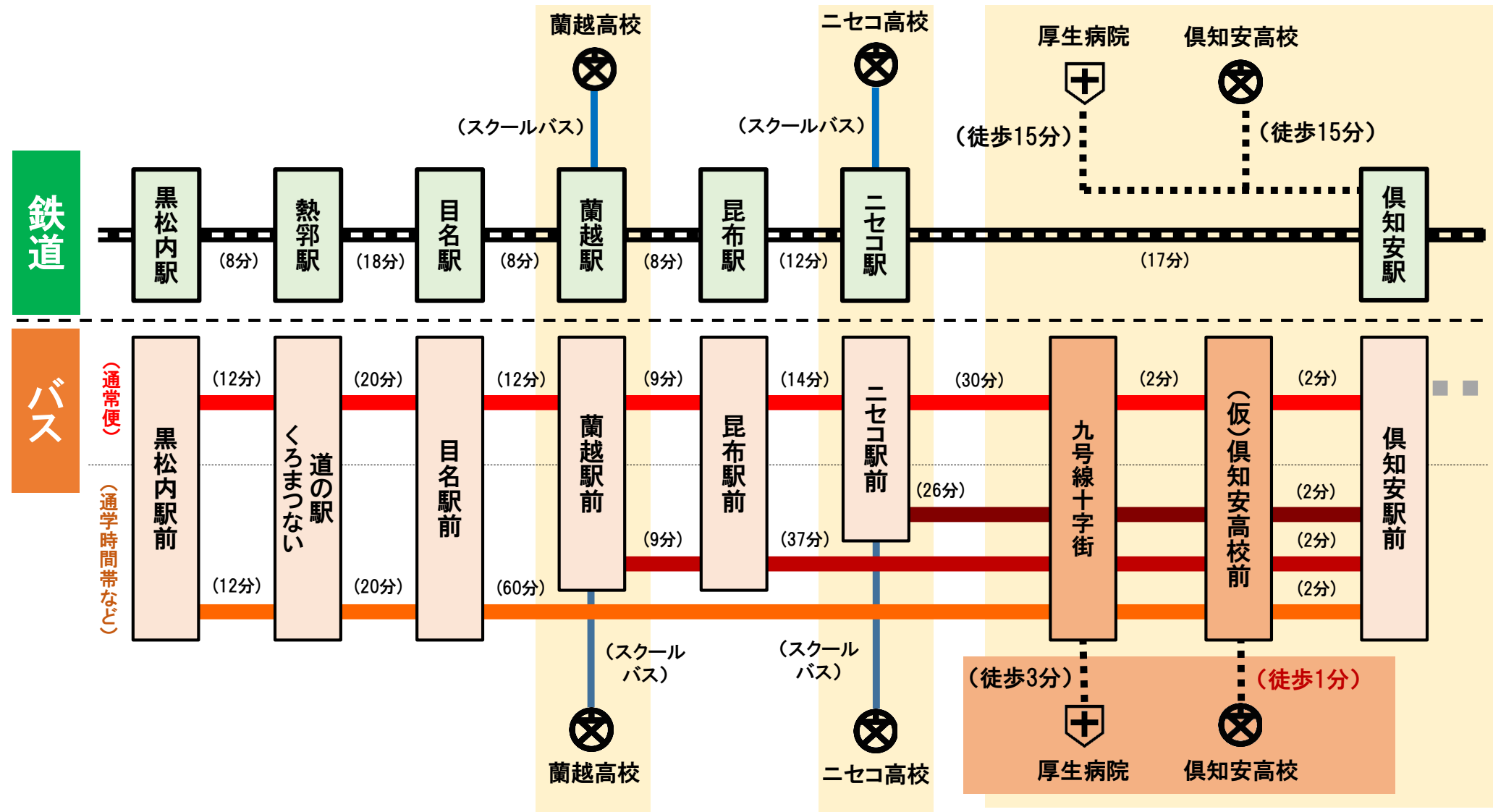
- ・JRの利用実態を踏まえてニセコ駅前へ乗り入れるルートについてダイヤと併せて検討する。(既存の小樽線の利用実態等も考慮)
- ・通学生などの利便性や速達性の観点から、ニセコ駅前を経由しないルートダイヤと併せて検討する。

(倶知安駅周辺)

- ・交通結節点として、倶知安駅へバスの乗り入れを検討する。
- ・倶知安厚生病院(九号線十字街)や倶知安高校前を経由するルートを検討する。

②黒松内～倶知安のバス運行の検討状況

ルート等の具体的イメージ



【所要時間の比較】

(例)蘭越から倶知安高校まで

- ・鉄道の場合 : 52分
- ・バスの場合 : 47分

【通院ダイヤの比較】

(検討予定のダイヤ)

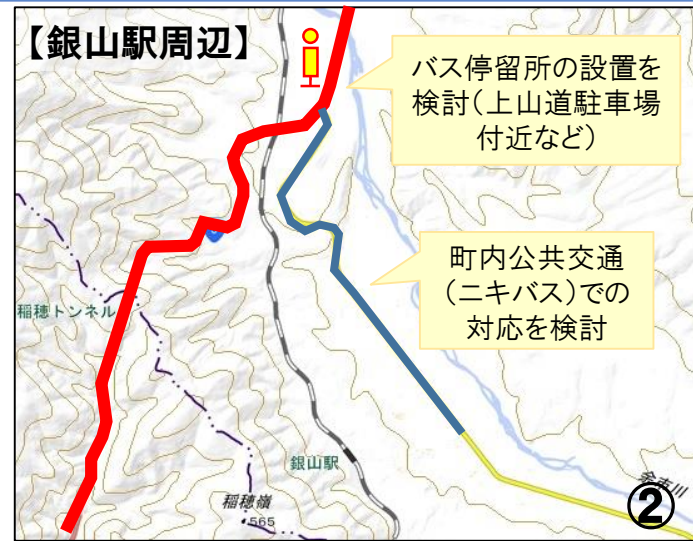
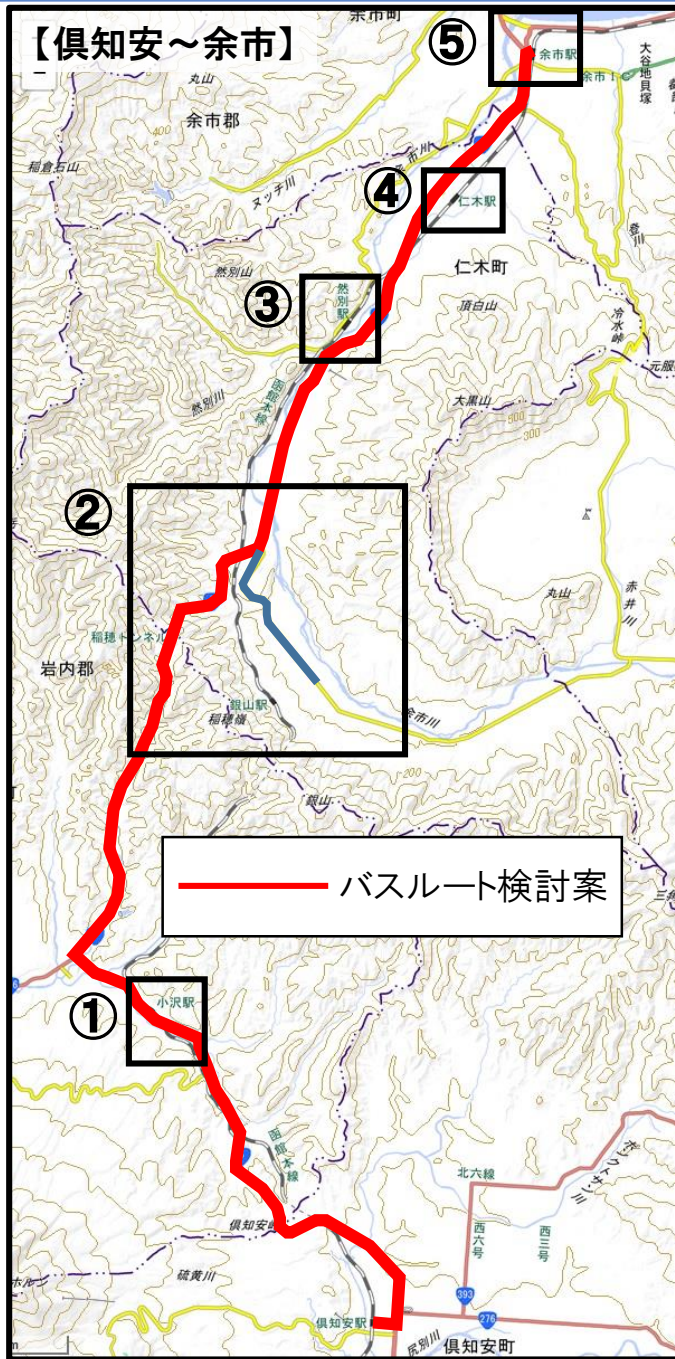
(例)目名から倶知安厚生病院への到着時間(往路)

- ・鉄道の場合 : 7時台、15時台
- ・バスの場合 : 8時台、9時台、11時台、14時台

②黒松内～俱知安の運行本数・ダイヤ・停留所等の検討状況

項目	検討内容	検討状況
①バス転換本数	・既存のバス路線に加え、JRと同等の運行本数の確保を検討	利用実態等を踏まえ、ダイヤ検討案に反映予定
②ダイヤ (利便性)	・俱知安、ニセコ、蘭越町内の高校の始業時間に合わせたダイヤを検討 (速達性を考慮)	利用実態等を踏まえ、ダイヤ検討案に反映予定
	・俱知安厚生病院への通院時間帯のダイヤを検討	
	・日中の時間帯(生活・観光利用)のダイヤを検討	
	・利用実態に合わせた最終便のダイヤを検討	
	・既存バス路線のダイヤとの調整を検討(福井線・小樽線など)	
(接続性)	・接続性の確保を検討(長万部方面/余市方面へと接続するバスなど)	
③バス停留所・ 乗継ぎ拠点等	・蘭越高校近辺のバス停留所の設置の検討	引き続き検討 ※蘭越高校付近は、道路幅の課題、 また、小中学校のスクールゾーン のため、安全性の確保が懸念
	・駅舎を活用したバス待合所の設置の検討(目名・蘭越・昆布駅)	待合所設置を視野にルートに組み入れ
	・駅舎(再整備含む)を活用したバス待合所の設置や乗継ぎ拠点としての整備を検討(黒松内駅)	引き続き検討
	・駅前への乗り入れ及び駅前整備の検討(ニセコ駅)	引き続き検討
	・既存のバス停留所を含むニーズに応じた停留所の設置を検討	引き続き検討
④その他	・環境配慮型バス導入の検討	引き続き検討
	・高速道路開通を見据えた小樽直通の高速バスの運行を検討(蘭越発)	今後検討(将来的な需要を見極めが必要)

③ 倶知安～余市のバスルート検討状況



- ・既存の小樽線と類似するルートを検討する。
 - ・小樽までの通学生が相当数いるため、直通ルートを設定を検討する。
- (小沢駅周辺)
- ・道路幅等や利用実態を踏まえ、バスの乗り入れを検討する。
- (銀山駅及び然別駅周辺)
- ・速達性の確保や利用実態などの観点から、町内公共交通(ニキバス)による運行(ただし、新たなバス車両の確保が必要)及びバス停留所の設置を検討する。

③ 倶知安～余市のバスルートの検討状況



(仁木駅周辺)

- ・仁木駅への乗り入れは、道路幅等や利用実態を踏まえ、バスの乗り入れを検討する。

(余市駅周辺)

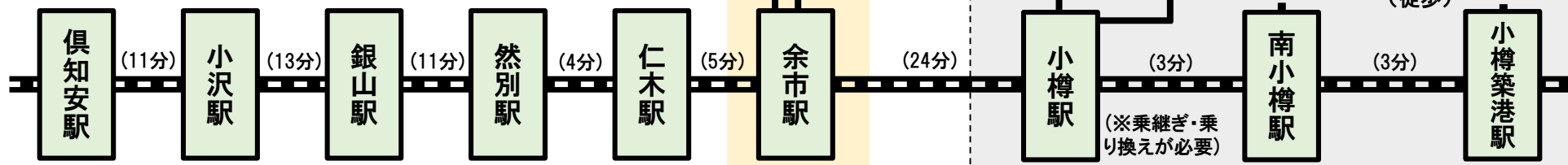
- ・余市駅へバスを乗り入れ及び余市駅を交通結節点として、乗継ぎ拠点の整備を検討する。

③ 倶知安～余市のバス運行の検討状況

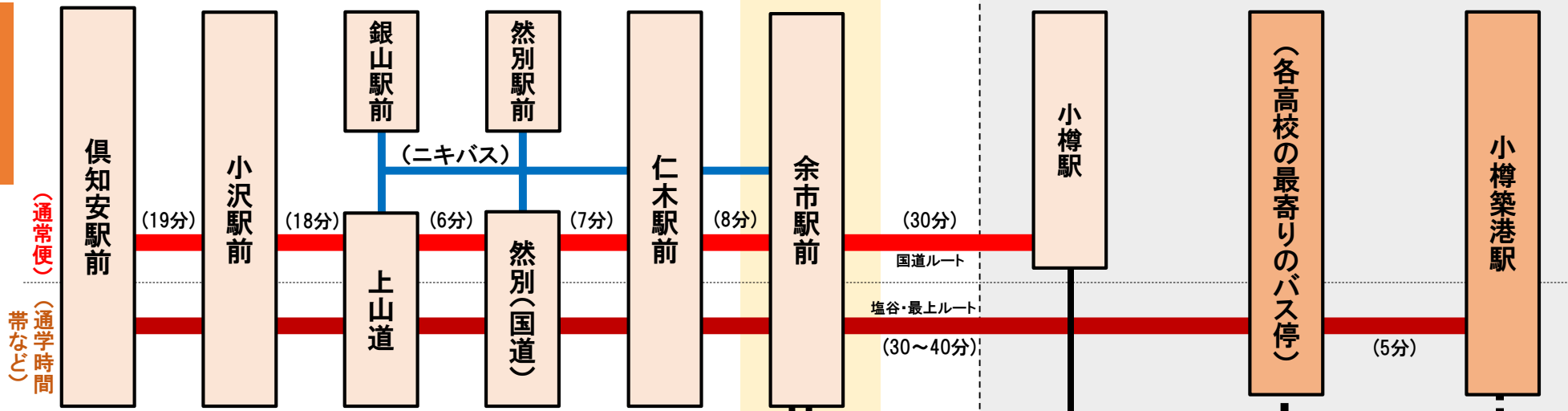
ルート等の具体的イメージ

※倶知安～余市は、小樽市内の高校への通学生が相当数いるため、利便性や速達性を考慮した小樽までのバスルート、ダイヤを検討

鉄道

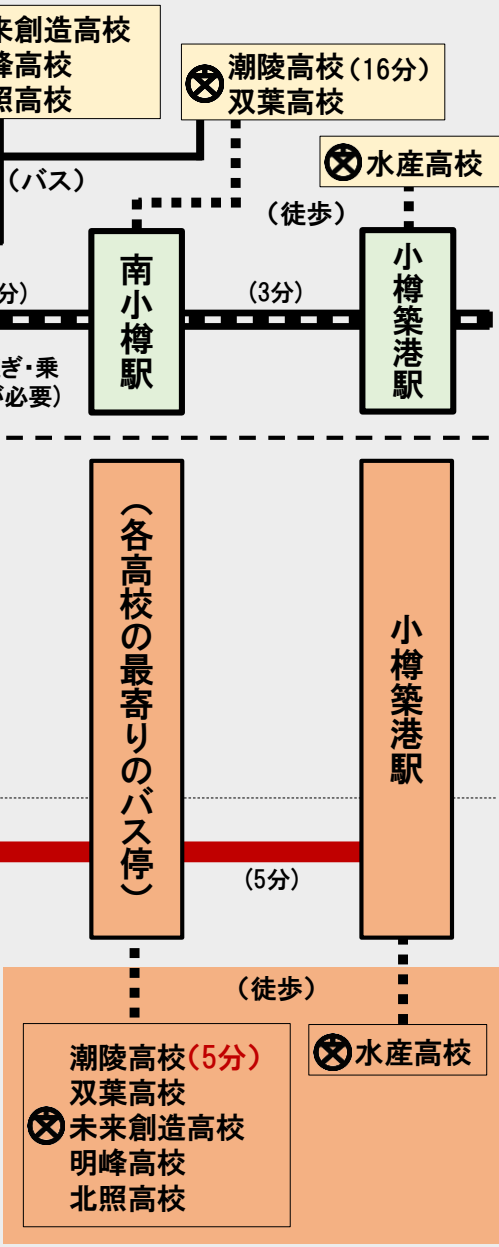


バス



【所要時間の比較】

- (例) 倶知安から小樽潮陵高校まで
- ・鉄道の場合 : 90~100分(小樽駅での乗継ぎ、南小樽から徒歩)
 - ・バスの場合 : 92~102分



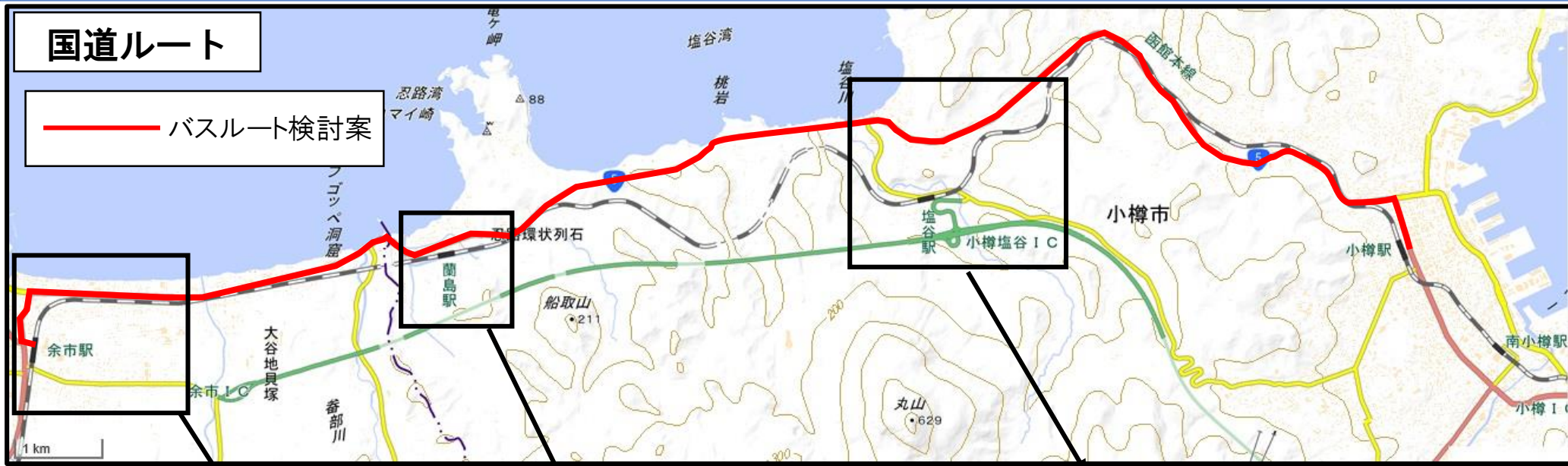
③ 倶知安～余市の運行本数・ダイヤ・停留所等の検討状況

項目	検討内容	検討状況
①バス転換本数	・既存のバス路線に加え、JRと同等の運行本数の確保を検討	利用実態等を踏まえ、ダイヤ検討案に反映予定
②ダイヤ (利便性)	・通学・通勤など着時間に合わせたダイヤの検討 (通院や買い物などは運行に合わせて利用する)	利用実態等を踏まえ、ダイヤ検討案に反映予定
	・日中の時間帯(生活・観光利用)のダイヤを検討	
	・利用実態に合わせた最終便のダイヤを検討	
(接続性)	・接続性の確保を検討(余市循環線/倶知安方面/小樽方面など)	
③バス停留所・ 乗継ぎ拠点等	・駅舎や跨線橋を活用した鉄道公園など、観光利用を検討(小沢駅) ・駅舎を活用したバス待合所の設置を検討(然別駅・仁木駅) ・駅前への乗り入れの検討(小沢駅・仁木駅) ・銀山駅付近へのバス乗り入れを検討	・銀山駅、然別駅は速達性の確保や利用実態などの観点から、町内公共交通(ニキバス)による運行(ただし、新たなバス車両の確保が必要)及びバス停留所の設置を検討 ・小沢駅、仁木駅は、引き続き検討(道路幅等や利用実態を踏まえ判断)
	・駅舎を活用したバス待合所の設置や乗継ぎ拠点としての整備を検討(余市駅)	引き続き検討
	・ニキバスに接続するバス停留所の設置を検討(上山道駐車場付近など)	引き続き検討
	・既存のバス停留所を含むニーズに応じた停留所の設置を検討	引き続き検討
④その他	・無人運転バスの実証運行を検討(銀山エリア)	引き続き検討

④ 余市～小樽のバスルートの検討状況① (国道ルート)

国道ルート

バスルート検討案



【余市駅周辺】



【蘭島駅周辺】

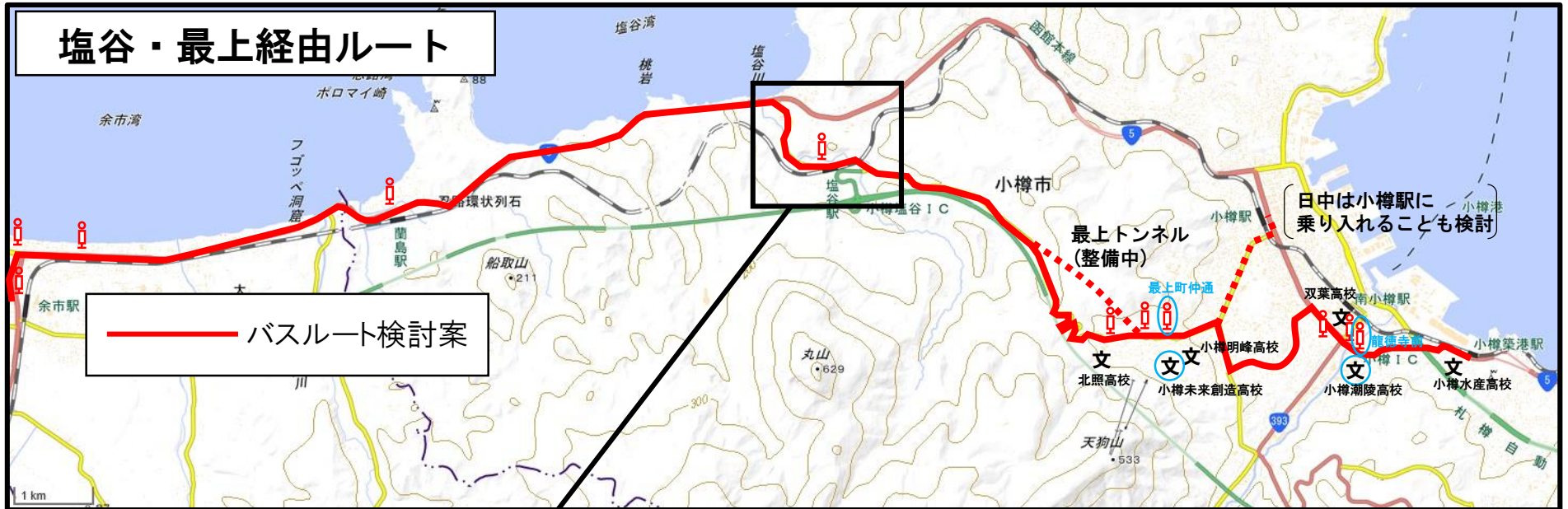


【塩谷駅周辺】



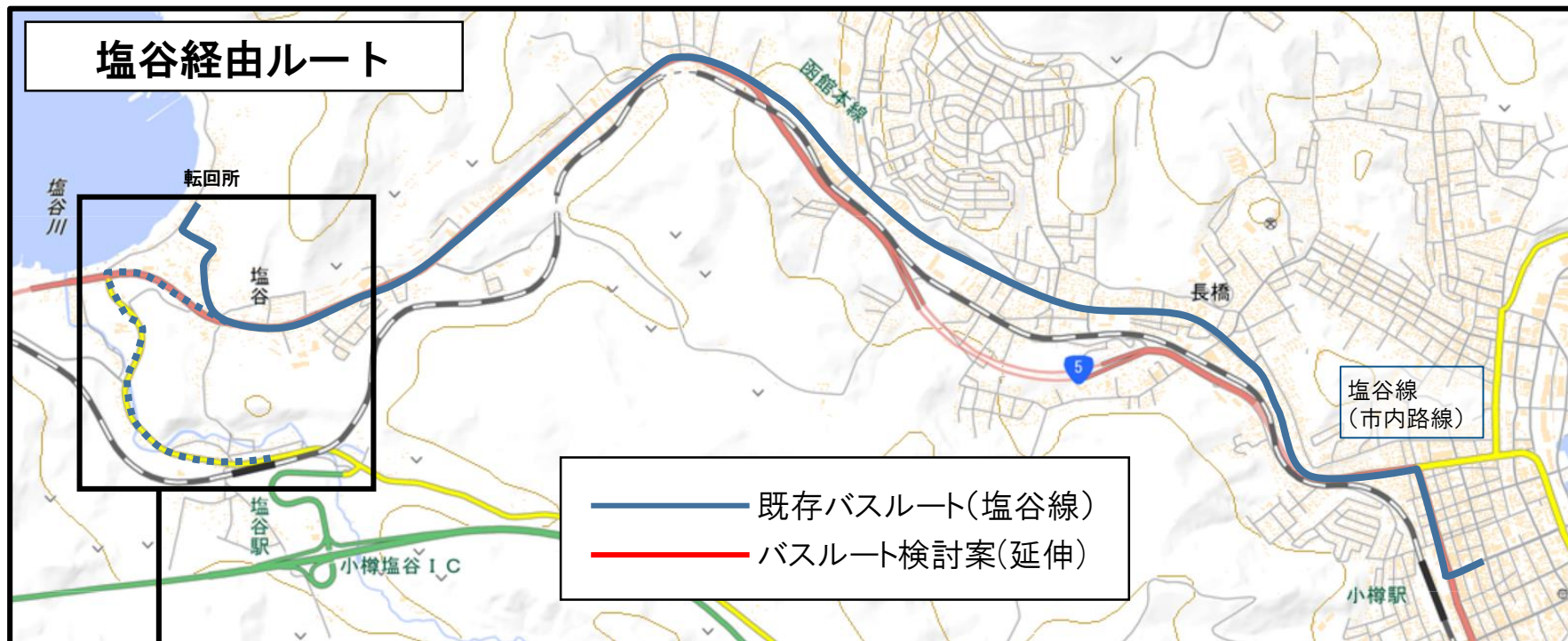
・既存の小樽線と類似するルートを検討する(国道ルート)。

④ 余市～小樽のバスルート検討状況② (塩谷駅利用者・高校通学者への利便性を考慮したルート)



- ・塩谷から小樽環状線を通るルートを検討する。(塩谷・最上ルート)
- ・塩谷駅前にバス停留所の設置を検討する。
- ・通学時間帯は増便での運行を検討する。
- ・日中の時間帯の小樽駅への乗り入れは、需要見込みなどを把握し検討する。

④ 余市～小樽のバスルート(の検討状況)③ (塩谷駅利用者の利便性を考慮したルート)



・既存の市内線である塩谷線を延伸し、塩谷駅前を經由するルートの設定を検討する。
・この場合、塩谷駅前にバスが転回するためのスペースの確保等が必要となるため、設置も含めて検討する。

④ 余市～小樽のバスルートの検討状況④ (札幌への速達性を考慮したルート)

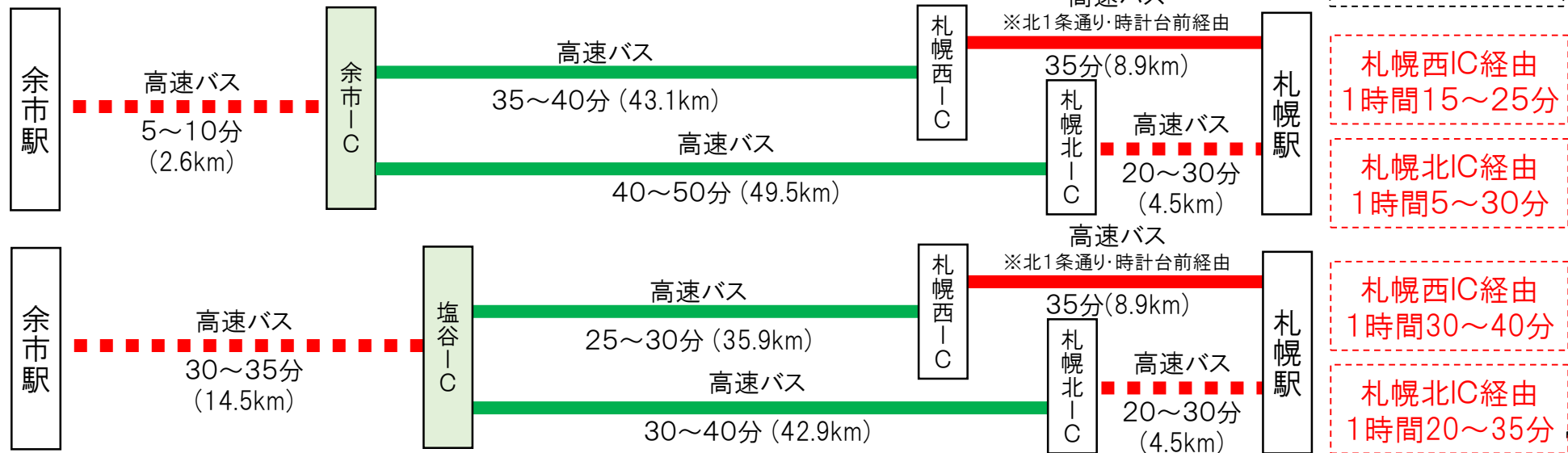
余市・札幌直行ルート(塩谷IC経由)



現状の所要時間

JRの場合
1時間15分
高速バスの場合
1時間40分

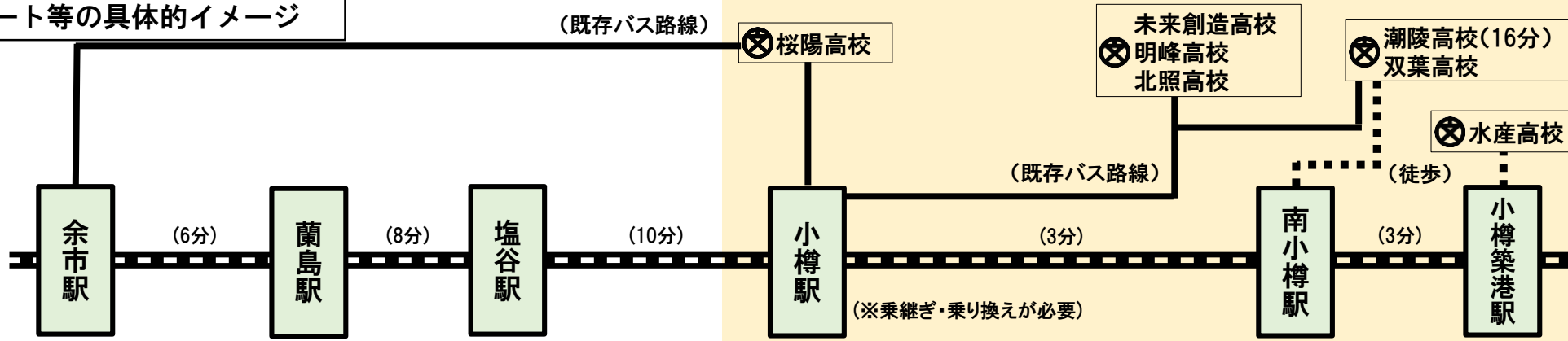
【余市・札幌直行ルート】余市駅から札幌駅への所要時間



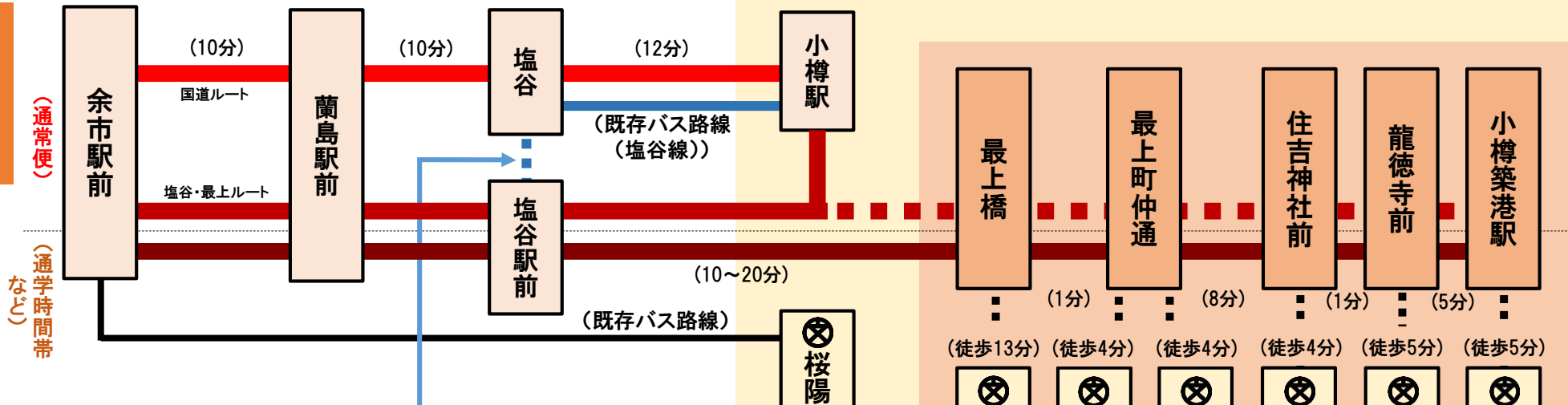
④ 余市～小樽のバス運行の検討状況 (塩谷駅利用者・高校通学者への利便性を考慮したルート)

ルート等の具体的イメージ

鉄道



バス



※既存バス路線の塩谷線の延伸を検討 (国道から道道沿いの塩谷駅前まで延伸し、塩谷駅利用者の利便性を確保)

【所要時間の比較】

- (例)余市から小樽潮陵高校まで
- ・鉄道の場合 : 50分(小樽駅での乗り換え、南小樽から徒歩)
 - ・バスの場合 : 45~55分

④ 余市～小樽のルート・運行本数・ダイヤ・停留所等の検討状況

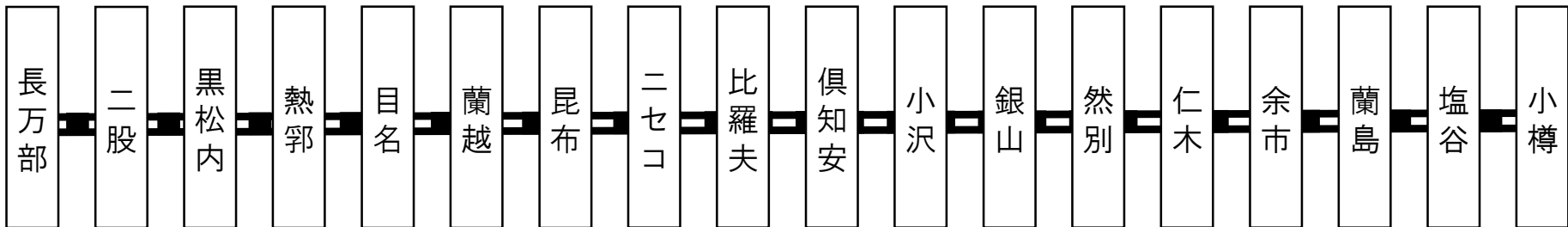
項目	検討内容	検討状況
①バス転換本数	<ul style="list-style-type: none"> 既存のバス路線を含め、ニーズに見合った運行本数の確保を検討（大量輸送の確保） 	利用実態等を踏まえ、ダイヤ検討案に反映予定
②ルート・ダイヤ（最上）	<ul style="list-style-type: none"> 小樽市内の高校近辺を通るルートを検討（速達性の確保） 小樽市内の高校の始業時間に合わせたダイヤを検討（利便性） 	利用実態等を踏まえ、ダイヤ検討案に反映予定
（塩谷）	<ul style="list-style-type: none"> 日中の時間帯の需要把握が必要 	引き続き検討（転回するスペースの確保等が必要）
（札幌直通）	<ul style="list-style-type: none"> 塩谷駅近辺に転回所を設けるなど、市内線を延伸するルートを検討 	引き続き検討（転回するスペースの確保等が必要）
③バス停留所・乗継ぎ拠点等	<ul style="list-style-type: none"> 需要把握が必要 	今後検討（需要見込みなどを把握し検討）
	<ul style="list-style-type: none"> 駅舎を活用したバス待合所の設置や乗継ぎ拠点としての整備を検討（余市駅） 駅舎を活用したバス待合所の設置を検討（蘭島駅） 転回所の整備やバス停留所の設置を検討（塩谷駅） 既存のバス停留所を含むニーズに応じた停留所の設置を検討 	引き続き検討

- 長万部・小樽間はバス方式とする方向性が確認されたことから、バス運行に向けた具体的な検討を進める。
- 検討にあたっては、以下のとおり「区間別検討会」を設置する。

区間	路線	関係市町	関係バス事業者
長万部・黒松内間	長万部・黒松内	長万部町、黒松内町、蘭越町、 ニセコ町、倶知安町	中央バスグループ (中央バス・ニセコバス)
黒松内・倶知安間	黒松内・倶知安 蘭越・倶知安		
倶知安・余市間	ニセコ・小樽 銀山・余市	ニセコ町、倶知安町、共和町、 仁木町、余市町、小樽市	
余市・小樽間	余市・小樽	余市町、小樽市	

※ 必要に応じて、上記の構成メンバー以外の関係者を加えて検討を進める。

○ バスルート等の設定に向け、利用実態を把握するとともに、運行経費や車両購入費等の試算に必要なデータを収集する。



調査対象駅	JR函館本線（長万部・小樽間）の各駅
実施予定日	令和4年7月15日（金）、16日（土）、17日（日）の3日間（高校の夏休み前）
実施主体	<ol style="list-style-type: none"> 1 駅の所在する沿線市町（長万部町・黒松内町・蘭越町・ニセコ町・倶知安町・共和町・仁木町・余市町・小樽市） 2 北海道総合政策部交通企画課 3 北海道後志総合振興局地域創生部地域政策課
実施方法	乗降人員調査 （各駅の構内などにて、調査員の目視により乗車人員及び降車人員の両方を記録する）
その他	函館線沿線の路線バスを対象に、バス事業者による乗降調査を実施する予定であり、調査結果は関係者で共有する。